

経験をデータベース化

アクセプト（狭山市）

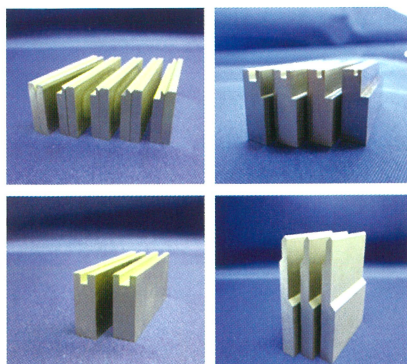
切削加工…作業者の技術に依存しない 万能精密板金曲げ加工治具の開発・製品化

ものづくりの現場では“職人”の高齢化により若手への技術継承が、喫緊の課題となっている。精密板金の試作加工業においても例外ではなく、課題解決すべく万能精密板金曲げ加工治具を開発した。

ホースバンドやデジタルカメラ、プリンタなどの試作板金で使われている「板ばね」は「ケトバシ」と言われる足踏み式加工機を使って加工されていた。しかし、手作業による位置決めやストロークの調整などは職人の長年の

経験が必要で、手法も個人差が大きい。

従来から使用していたプレス機をベースに、カートリッジ式の台座を開発。素材となるステンレス板など



さまざまなダイツールを使って曲げ加工を再現

を、「パンチ」と「ダイ」と呼ばれるさまざまな形状の専用ツールを差し込むだけで、曲げ加工が再現できるようになった。さらに独自開発の試作専用機との組み合わせで、曲げ角度をデジタル数値化。経験が浅い作業者でも加工が容易となった。

経験に頼らない技能継承ができることで、魅力ある職種として若手へアピール

ルできるようになるとい

う。
同業者が年々廃業に追い込まれていく中で、小ロットと多品種にこだわった経営方針は、必要とされている技術を守り、業界を次世代へつなげるための防波堤でもある。後継者や設備不足、多種多様化などをカバーすべく、「バネ屋さんのためのバネ屋です」を掲げるユニークな企業だ。

【アクセプト株式会社】

本社は狭山市水野399。伊藤秀之代表取締役。2006年創業。コイルばねや薄板ばねなど、小物試作品を製造。経営理念は「お客様の立場で創造し、社会に受け入れていただく」。安定した品質と早期納品、コスト減をPRする。